

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名： 茨城県常総市立大花羽小学校

活動名： 危機管理意識の向上 ～防災教育の推進と感染症対策の取組～

解決すべき課題：

学校における危機管理は児童や保護者、教職員の命を守るために重要なものである。平成 27 年度に常総市は関東・東北豪雨水害を経験したが、本学区は被害を免れたため児童及び保護者の防災に関する意識は月日とともに薄れつつある。教職員にも災害経験の有無による意識の差が感じられる。また、現在新型コロナウイルス感染症が流行し、学校では手探り状態のため管理が十分とはいえない。そこで、学校保健・学校安全の効果的な推進を図るために、中堅教員研修で学んだリスクマネジメントを活用し、防災教育と感染症対策について改めて見直し、児童及び保護者、教職員における危機管理意識の向上を目指したい。

目標・方針：

- (1) リスクマネジメントを危機管理に活かし、校内防災体制を強化する。また、各教科や特別活動等の教育活動全体を通して防災教育を実施し、児童や保護者、教職員の危機管理意識の向上を図る。
- (2) 養護教諭の専門性を活かし、健康管理と環境衛生管理を心掛け、十分な感染症対策を行う。

活動内容：

- ・教職員の意識を高めるため、保健主事や教務主任と連携し、自然災害におけるあらゆるリスクを想定し、危機管理マニュアルや災害時引き渡しマニュアルを見直した。(写真1)
- ・児童の防災に対する関心を高めるため、防災教育計画を見直し、生活科や理科、社会科等と関連付け防災教育を実施した。(写真2) 本校オリジナルの学校防災探検マップも作成した。(写真3)
- ・児童や保護者の防災に関する正しい知識を習得するため、積極的に河川事務所や防災士、地域の消防団等と連携し、避難訓練や防災学習を実施した。(写真4・5・6)
- ・感染症対策では、教職員が新しい生活様式や消毒作業等、1日の流れがスムーズに対応できるように「学校生活対応マニュアル」を作成した。職員集会等で情報を提供したり、研修を行ったりした。(写真8)
- ・感染リスクを意識した保健室内の配置やソーシャルディスタンスを意識した水道場の工夫、手作りマスクやパーテーションの設置、可視化を意識した掲示物の作成、放送による保健指導等を行った。(写真9・10)

活動の成果：(資料1)

- ・リスクを想定しマニュアルを見直したことにより、引渡し訓練においてもスムーズに行動することができた。また、保健・安全に関する研修の機会が増えたことで、教職員の危機管理に対する意識を高めることができた。
- ・教科と関連付けた防災教育を行ったことにより、児童の防災に関する興味・関心を高めることができた。
- ・外部講師と協力し、保護者や地域と連携した避難訓練や防災学習を実施したことにより、保護者の防災に対する意識が高まりつつある。全家庭で防災家族会議を開き「マイ・タイムライン」を作成することができた。
- ・可視化を意識した環境や掲示物の工夫により、児童自ら感染症予防を意識する行動が定着しつつある。

アピールポイント(アイディアや工夫)：

- ・危機管理においてリスクマネジメントを活用したことで、よりよい対策を考えることができた。防災に対する意識を高めるため、積極的に外部講師と協力し保護者や地域と連携した避難訓練や防災学習を実施した。
- ・養護教諭は学校の要！防災や感染症対策の中核となることで、よりよい学校保健・学校安全に繋がる。

写真1 災害時引き渡しマニュアル

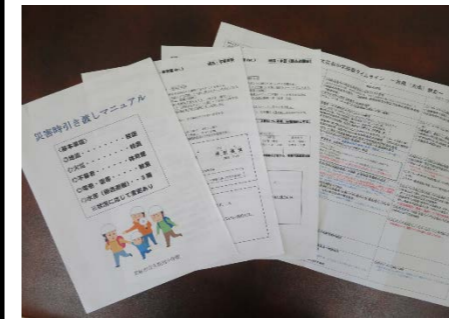


写真2 生活科：学校防災探検の様子



写真3 学校防災探検マップ

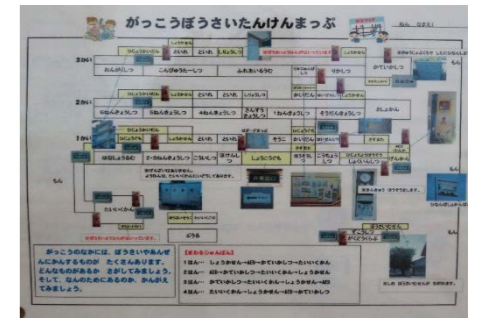


写真4 防災士と防災安全マップを作成



写真5 親子でマイ・タイムライン作成



写真6 引き渡し訓練の様子



写真8 新しい学校生活対応マニュアル



写真9 水道場の工夫

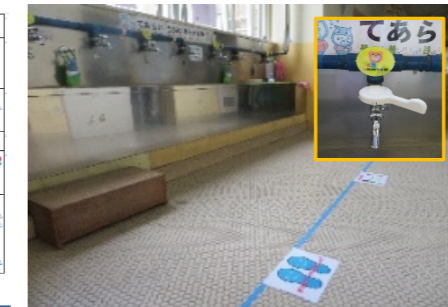


写真10 手作りパーテーションの設置



資料1：避難訓練・防災学習振り返り、児童・保護者の感想、学校評価から

- ・防災教育主任を中心に計画の見直しやマニュアルの作成が行われ、全職員で改めて共通理解することができた。計画的に防災学習を実施することにより、教職員の意識も高まっている。(教職員)
- ・保護者からの意見をPTA本部役員と協議し、令和元年度から市内学校初の防災頭巾を導入することができた。避難訓練や日常での災害時に活用することができ大変良かった。(教職員・保護者)
- ・学校防災探検では、グループで非常口や消火栓、さすまたやAEDなどを探することができて楽しかった。私たちの命を守るために学校には色々なものがあることが分かった。(児童)
- ・防災安全マップを作成して、自分の通学路にはブロック塀があり、危険な場所があることが分かった。避難場所や安全な道を確認することができて良かった。班長として下の子を守りたい。(児童)
- ・河川事務所や防災士の方から専門的な話を聞くことができ、マイ・タイムラインを作成するのに大変参考になった。実際に引き渡し訓練をしたことで防災意識が高まり、家庭でも日頃から防災用品の準備や確認をしていかなければいけないと思った。(保護者)
- ・防災学習後の振り返りカードでは、ほとんどの児童が「防災への意識が高まった」と回答していた。
- ・平成元年12月に実施した学校評価「安全や防災に関する学習に取り組んでいますか」という問いに対し、4点満点中、全体児童平均は3.8点、保護者平均は3.6点だった。児童・保護者と共に、防災教育に真剣に取り組む姿がみられ、安全や防災への意識が高まりつつある。